

熊本県立大学食育ビジョン（第3期・H30～）

熊本県立大学学生の食生活の現状と課題

これまで本学は様々な食育活動を実施・発信してきた。しかし平成28年度に実施した本学学生を対象とした食生活調査から「大学生の食生活と健康維持」にいくつかの問題点が表出した。本学学生の健康状態は、立ちくらみやだるさ・疲れ、便秘など体調に課題がある者の割合が全国や熊本県の平均値より高く、食生活については、野菜摂取量が目標値350gと比べて極端に少ない等、食生活を自己管理する力が身につけていない学生が多くみられた。健全な食生活を自己管理できる食育が急務である。

熊本県民の食生活の現状と課題

熊本県民の食生活については、野菜と果物、魚介類の摂取量が全国平均と比較して有意に低く、肉類摂取量が全国平均と比較して有意に高い等の課題があげられる。また、健康状態については、一人当たりの国民医療費や定期健康診断での有所見者率が全国平均より高い現状がある。特に熊本市の人工透析者数の割合は全国的にも際立って高く、健康増進につながる食生活の改善が求められる。

また、県内農水産物を活用した新しい食材等開発が盛んに行われており、今後、さらなる地方創生事業に活かしていく必要がある。

本学のシーズ

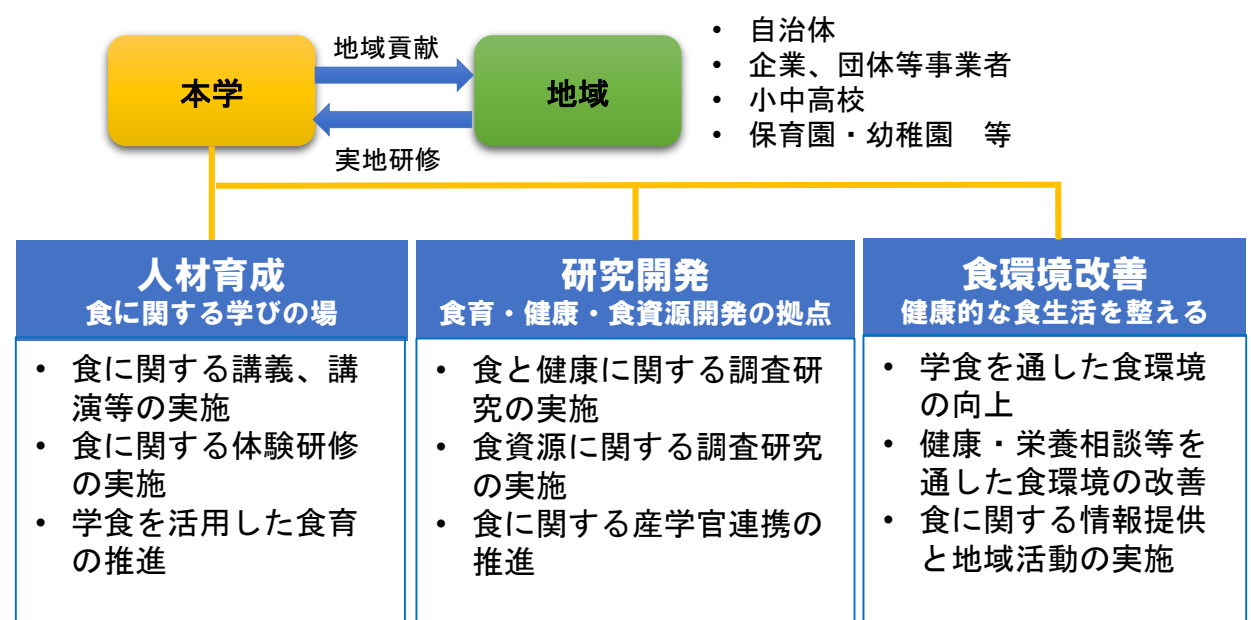
文学部、環境共生学部、総合管理学部の3学部からなる本学では、前身の熊本女子大学から続く食と健康に関する人材育成や研究開発の実績に加え、郷土料理など食文化の保護・発信、マーケティングや政策的視点からの地域の食資源の開発を行っている。

なお、長年にわたる活動が認められ、第1回食育活動表彰教育関係者・事業者部門で「農林水産大臣賞」を受賞した。

基本理念：地域に学び、地域に伝える食育

- ① 地域の食資源を基に、本学学生の食と健康に関する理解を深め、食生活を通して健康を自己管理できる人材を育成する
- ② 専門的知見を有する人材を育成し、地域の食に関する課題解決をめざす

3つのアクションと具体的プログラム



情報発信（HP、広報紙、関連学会への発表、メディア等）